

令和7年度 南九州市当初予算

一般会計 301億9,500万円 (対前年度比+3.7%)

特別・企業会計 126億7,394万円 (対前年度比△4.0%)

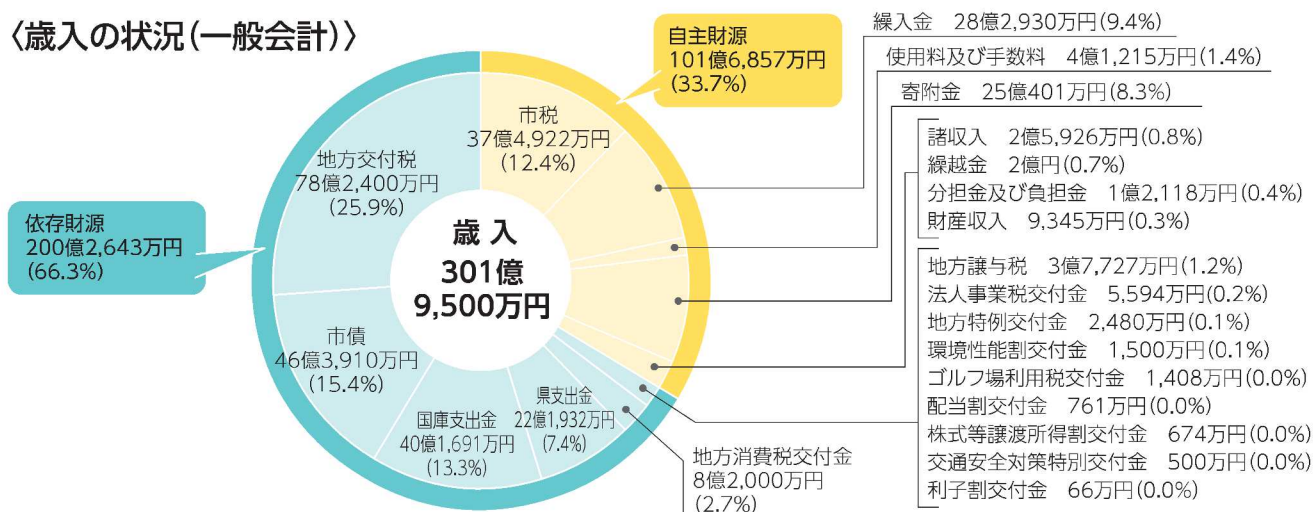
南九州市の令和7年度当初予算は、行政改革大綱、集中改革プランおよび中期財政計画に基づき、長期的視点に立った持続可能で健全な財政運営に努めるとともに、第二次総合計画において掲げた将来都市像の実現に向けた諸施策を確実に推進するため、選択と集中を徹底したメリハリのある予算編成としました。

特に、地域の発展と住民福祉の向上を図るため、「子育て支援」、「教育環境の充実」などに重点的に予算配分を行い、激変する社会経済情勢や高度化・多様化・複雑化する行政需要に創意工夫を持って的確に対応していきます。

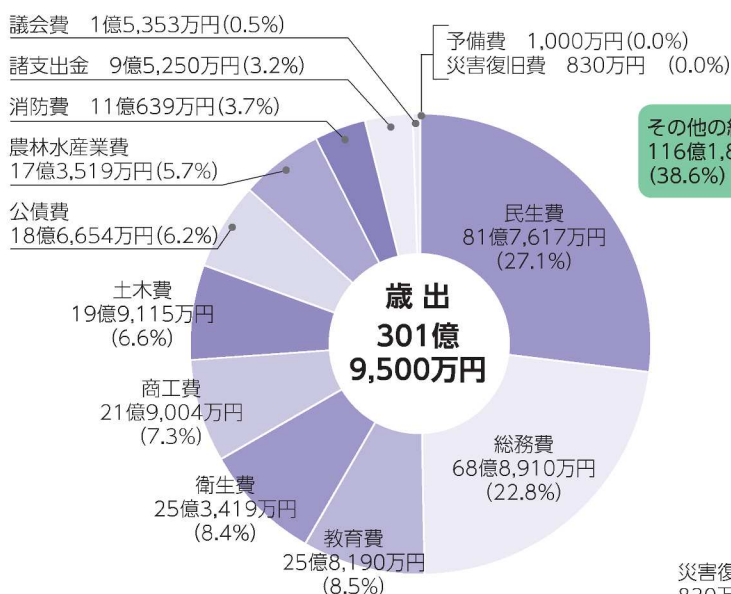
このようなことを踏まえた一般会計の総額は301億9,500万円で、前年度比3.7%、10億8,900万円の増と積極的な予算編成となりました。また、一般会計と特別会計および企業会計を合わせた予算総額は、428億6,893万7千円で、前年度比1.3%、5億6,099万円の増となりました。

令和7年度当初予算の歳入歳出状況

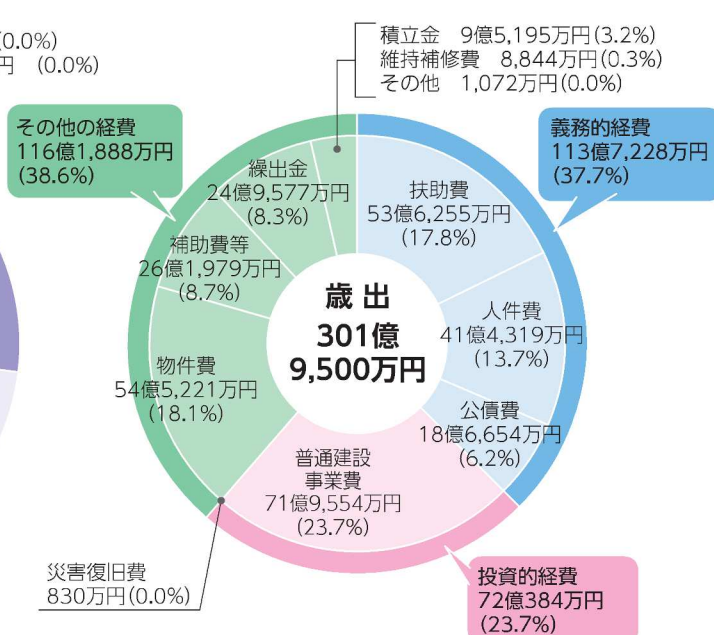
〈歳入の状況(一般会計)〉



〈目的別歳出の状況(一般会計)〉



〈性質別歳出の状況(一般会計)〉



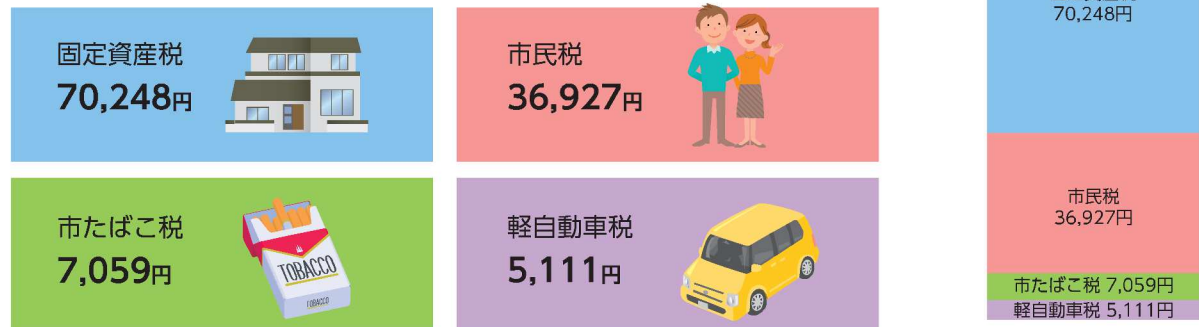
会計別の歳出予算額比較

区 分	令和7年度	令和6年度	比 較	
			増減額	増減率
一般会計	301億9,500万円	291億600万円	10億8,900万円	3.7%
特別会計	113億4,200万円	118億1,730万円	△4億7,530万円	△4.0%
国民健康保険事業特別会計	51億7,500万円	56億4,000万円	△4億6,500万円	△8.2%
後期高齢者医療特別会計	7億100万円	6億9,730万円	370万円	0.5%
介護保険事業特別会計	54億6,600万円	54億8,000万円	△1,400万円	△0.3%
企業会計	13億3,193万7千円	13億8,464万7千円	△5,271万円	△3.8%
水道事業会計	9億8,183万7千円	10億6,264万6千円	△8,080万9千円	△7.6%
公共下水道事業会計	2億4,855万8千円	2億2,343万6千円	2,512万2千円	11.2%
農業集落排水事業会計	1億154万2千円	9,856万5千円	297万7千円	3.0%
合 計	428億6,893万7千円	423億794万7千円	5億6,099万円	1.3%

令和7年度当初予算を市民1人あたりに換算すると…

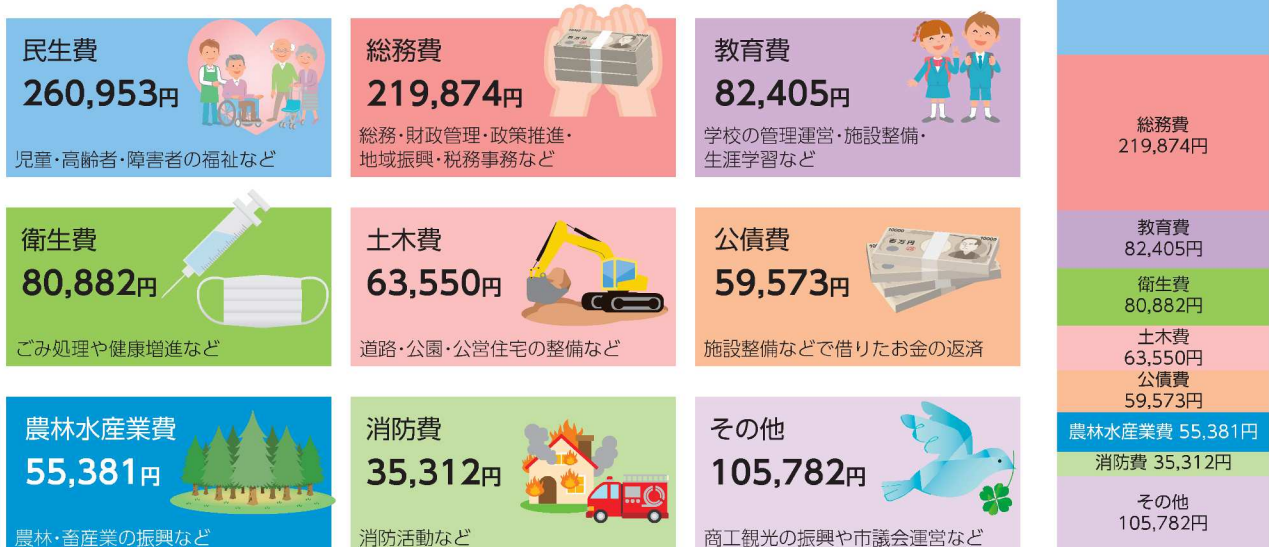
市民1人当たりが負担する市税 総額 119,345円

※金額は、令和7年2月28日現在の住基人口(31,332人)で計算しています。
(鉱産税、国有資産等所在市町村交付金は除く)



市民1人当たりに使われるお金 総額 963,711円

※金額は、令和7年2月28日現在の住基人口(31,332人)で計算しています。



当初予算の特徴

南九州市では、将来都市像である「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち南九州市」を目標として掲げ、南九州市総合計画に基づきまちづくりを進めています。ここでは、令和7年度の当初予算の特徴について紹介します。

子育て支援の充実

1 ウェルカムベビー事業

一部新規

【2121万円】

子どもの健やかな成長を願い、出生祝金、伝統工芸品、1歳未満の子どもにウェルカムベビーカー（育児用品購入用）を支給します。

2 児童福祉関係事業

一部新規

【1111万円】

次代を担う子どもの入学を祝うとともに健やかな成長を願い、子育て応援小学校入学祝金を支給します。

3 子ども医療費給付事業

一部新規

【1億4066万円】

高校卒業までの全ての子ども医療費を窓口負担無料とすることにより、子どもの疾病の早期発見、早期治療の促進を図ります。

4 防災・安全交付金事業

一部新規

【1億9293万円】

防災・安全社会資本整備総合交付金事業（都市公園長寿命化）を活用して、公園の長寿命化を図りながら遊具などの建設を行うとともに、川辺新

町に新たな公園を整備し、子どもから高齢者まで幅広い年代がくつろげる空間を創出します。

教育環境の充実

1 地域子ども教室推進事業

継続

【158万円】

地域子ども教室の運営や夏休み期間中に子ども見守り事業を行うことで、心豊かな青少年の育成に努めます。

2 小・中学校ICT推進事業

継続

【2673万円】

プログラミング教材やオンライン教材、授業支援クラウドなどICT関連の機器を最大限に生かし、学力の向上とともに児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。

平和を語り継ぐまち

1 平和会館管理事業

新規

【2億3075万円】

戦後80年を迎え、展示品の経年劣化防止や会館内の環境整備、利便性向上のため照明などの改修工事を行い、戦跡「猿山展望台」へのアクセス道の環境整備により誘客につなげます。

2 世界の記憶推進事業

新規

【3167万円】

市内高校生の参加を呼びかけ、知覧特攻平和会館と姉妹館であるアメリカ合衆国ハワイ州にある戦艦ミズーリ記念館との交流事業を行い、平和を語り継ぎ、継承するという取組を国内外に発信していきます。

住みやすいまちづくりと
移住・定住対策の充実

1 移住定住促進対策事業

一部新規

【8053万円】

市内におけるマイホームの取得費用や住み替え住宅のリフォーム費用、子育て転入世帯の家賃、市内に居住する新婚世帯の家賃や引越費用に対し補助金を交付することで、若年層の移住定住を促し、地域の活性化を図ります。

2 まちづくり事業

一部新規

【1200万円】

自治会などの地域コミュニティ組織や住民のコミュニティ団体が実践するまちづくり事業や地域課題解決事業、魅力づくり事業に対する支援を行い、活気あふれるまちづくりを推進します。

産業の振興

1 荒廃農地解消事業

継続

【400万円】

廃園または廃園予定の茶園をスムーズに抜根・整地し、他作物（野菜等）が栽培できる畑の状態に整備し、農地の有効利用及び生産振興を図ります。

観光の振興

1 寺師邸活用事業

新規

【3886万円】

「稼ぐ観光戦略」として、本市への滞在時間延長による観光消費の拡大に主眼を置き、知覧武家屋敷庭園寺師邸の宿泊施設改修など観光資源の磨き上げや、インバウンド需要の取り込みに向けた着地整備を行います。

効率的な行政運営の推進

1 新庁舎建設事業

一部新規

【35億9566万円】

新庁舎建設に向け、新庁舎の建築工事を中心に、敷地造成・外構工事などを行います。